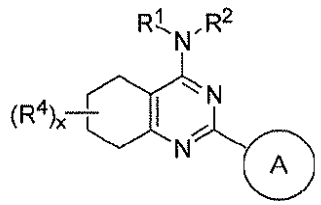
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公表番号】特表2007-501258(P2007-501258A)
【公表日】平成19年1月25日(2007.1.25)
【年通号数】公開・登録公報2007-003
【出願番号】特願2006-522773(P2006-522773)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 239/70　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 239/94　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/04　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 405/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 403/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 495/04　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 403/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/517　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/496　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/675　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/541　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/22　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 21/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｆ 9/6533　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 239/70　ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 471/04　１１７Ｚ
Ｃ０７Ｄ 239/94
Ｃ０７Ｄ 401/04
Ｃ０７Ｄ 405/12
Ｃ０７Ｄ 403/12
Ｃ０７Ｄ 495/04　１０５Ｚ
Ｃ０７Ｄ 471/04　１１７Ｎ

Ｃ０７Ｄ 401/14
Ｃ０７Ｄ 403/04
Ａ６１Ｋ 31/519
Ａ６１Ｋ 31/517
Ａ６１Ｋ 31/5377
Ａ６１Ｋ 31/496
Ａ６１Ｋ 31/675
Ａ６１Ｋ 31/541
Ａ６１Ｐ 29/00
Ａ６１Ｐ 25/02 １０１
Ａ６１Ｐ 19/02
Ａ６１Ｐ 25/08
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 43/00
Ａ６１Ｐ 25/22
Ａ６１Ｐ 25/24
Ａ６１Ｐ 21/02
Ａ６１Ｐ 9/06
Ａ６１Ｐ 25/14
Ａ６１Ｐ 1/04
Ａ６１Ｐ 13/10
Ａ６１Ｐ 3/10
Ａ６１Ｐ 3/12
Ａ６１Ｐ 3/14
Ｃ０７Ｆ 9/6533

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年2月28日(2011.2.28)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉ－Ｂの化合物、またはそれらの薬学的に受容可能な塩：
【化１】



I-B

ここで：
Ｒ^{1}は、水素、メチル、エチル、またはベンジルであり、Ｒ^{2}は、メチル、エチル、ジメチルアミノエチル、２－（２’－テトラヒドロフラニル）メチル、２－ヒドロキシ－１－メチル－エチル、メチルアミノエチル、イミダゾール－５－イル－エチルである；またはＲ^{1}およびＲ^{2}は、一緒になって、４－メトキシピペリジニル、Ｎ－ピロリジニル、３

－トリフルオロメチル－１－ピロリジニル、４－ブチルスルホニル－ピペラジニル、１－ピペリジニル、１－ピペラジニル、４－メチルピペリジニル、４－ヒドロキシピペリジニル、４－モルホリニル、４－メチルスルホニルピペラジニル、４－エチルスルホニルピペラジニル、４－イソプロピルスルホニルピペラジニル、Ｎ－ピペリジニル、３－ジエチルアミノカルボニル－１－ピペリジニル、４－オキソ－ピペリジニル、３－アミノカルボニル－ピペリジニル、４－メチルピペラジニルまたは４－カルボキシエチル－ピペラジニルを形成する；

環Ａは、１－ピロリル、２－ピリジル、２－フルオロフェニル、２－ヒドロキシフェニル、２－アシルオキシフェニル、２－ヒドロキシ－６－フルオロフェニル、２－メトキシフェニル、フェニル－２－リン酸二ナトリウム塩、または４－メチルピペリジル、２－エチル－カルバミン酸フェニルエステルである；

ｘは、１である；そして

Ｒ^{4}は、６－メチル、７－メチル、８－ヒドロキシ、または２－ｔ－ブチルカルボニルオキシである、

化合物。

【請求項２】

環Ａが、２－ヒドロキシフェニルであり、Ｒ^{1}およびＲ^{2}が、一緒になって、１－ピペリジニル環を形成し、そしてＲ^{4}が、７－メチルである、請求項１に記載の化合物。

【請求項３】

請求項１または２のいずれか一項に記載の化合物と、薬学的に受容可能なキャリアまたはアジュバントとを含有する、医薬組成物。

【請求項４】

急性、慢性、神経障害性または炎症性の疼痛、関節炎、片頭痛、群発性頭痛、三叉神経痛、疱疹性神経痛、一般神経痛、癲癇または癲癇状態、神経変性疾患、精神医学的障害（例えば、不安および鬱病）、筋緊張症、不整脈、運動障害、神経内分泌障害、運動失調、多発性硬化症、過敏性腸症候群、失禁症、内臓痛、骨関節炎疼痛、帯状疱疹後神経痛、糖尿病性神経障害、根性痛、坐骨神経症、背痛、頭痛または頸痛、激痛または難治性疼痛、侵害受容性疼痛、突破痛、術後痛または癌疼痛から選択される疾患、障害または病気を治療するかその重篤度を軽減するための、請求項３に記載の組成物。

【請求項５】

前記疾患、病気または障害が、電位依存型ナトリウムチャネルの活性化または機能亢進に関係している、請求項４に記載の組成物。

【請求項６】

前記疾患、病気または障害が、電位依存型カルシウムチャネルの活性化または機能亢進に関係している、請求項４に記載の組成物。

【請求項７】

以下におけるＮａＶ１．１、ＮａＶ１．２、ＮａＶ１．３、ＮａＶ１．４、ＮａＶ１．５、ＮａＶ１．６、ＮａＶ１．７、ＮａＶ１．８、ＮａＶ１．９またはＣａＶ２．２活性の１つまたはそれ以上を阻害するための、請求項３に記載の組成物：

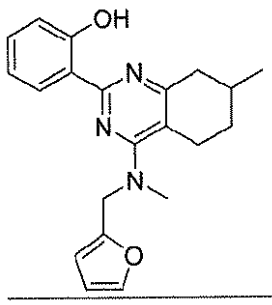
（ａ）患者；または

（ｂ）生体試料。

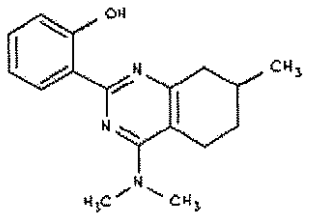
【請求項８】

以下

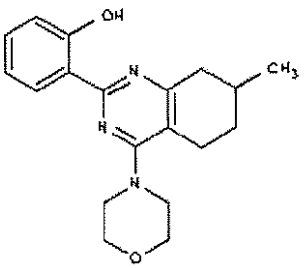
【化１３６】



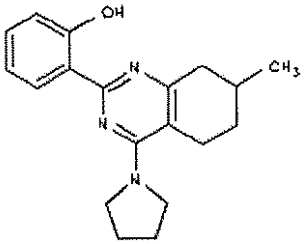
I-4



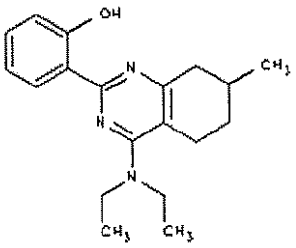
36



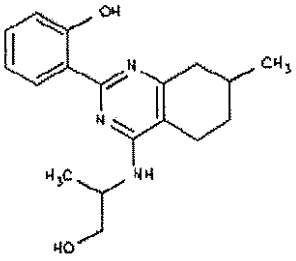
37



38

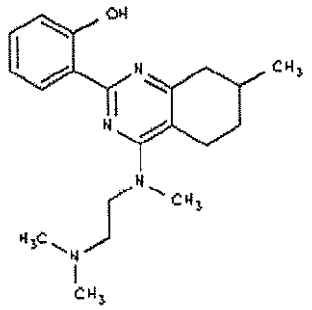


39

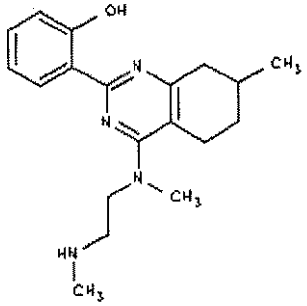


40

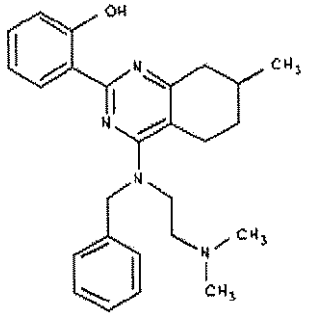
【化１３７】



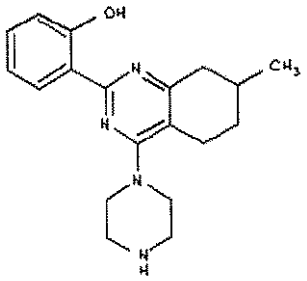
42



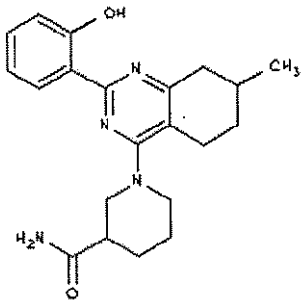
43



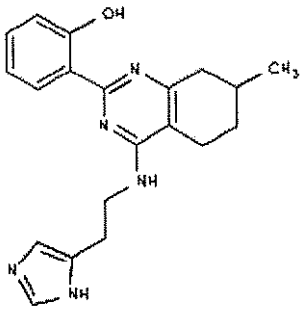
44



45

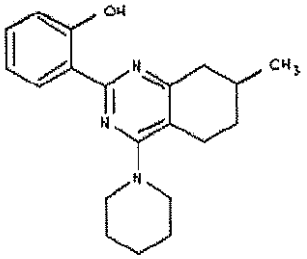


46

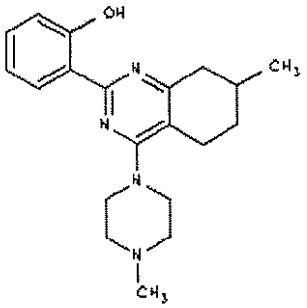


48

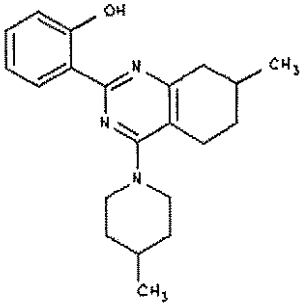
【化１３８】



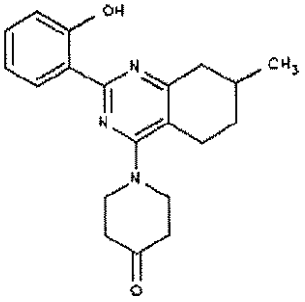
49



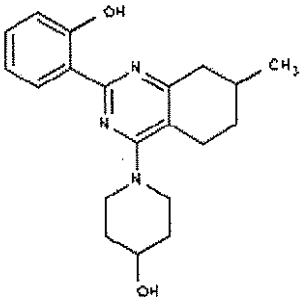
50



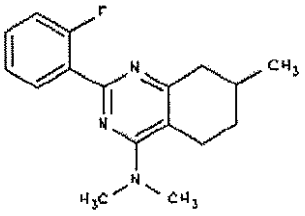
51



54

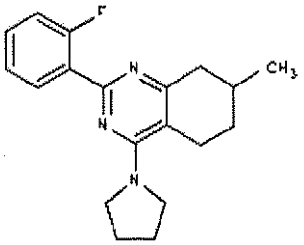


55

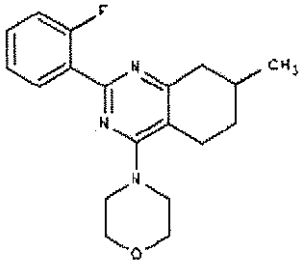


56

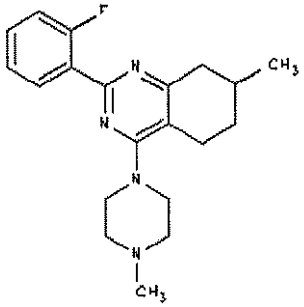
【化１３９】



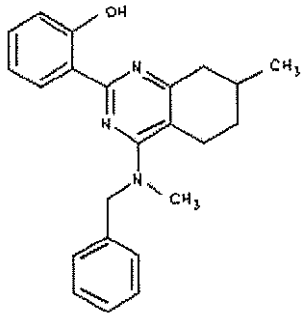
57



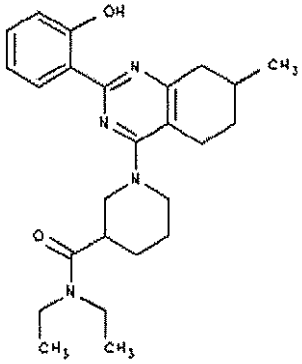
58



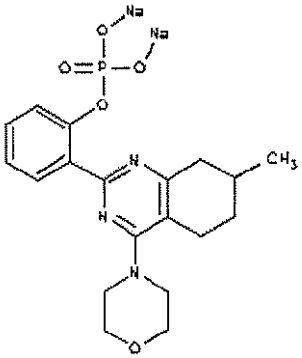
59



60

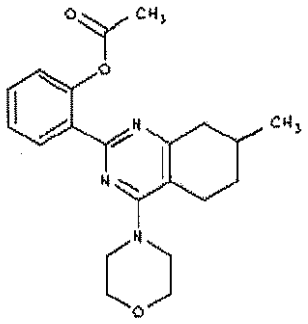


61

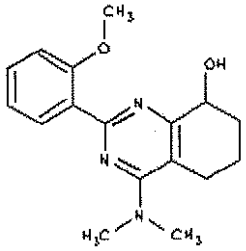


97

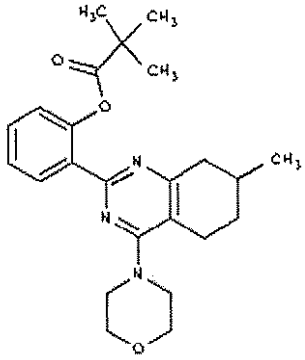
【化１４０】



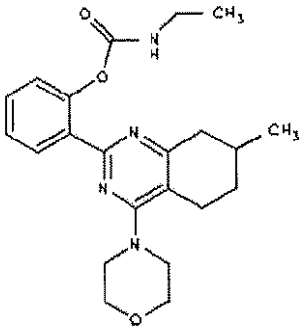
98



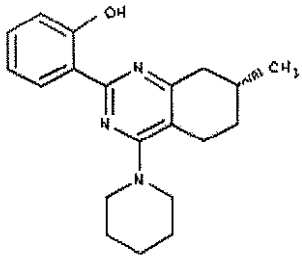
112



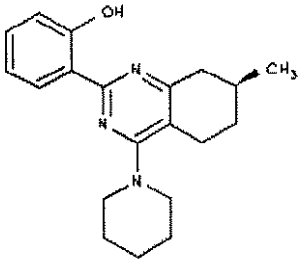
115



116

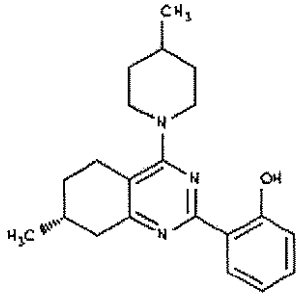


117

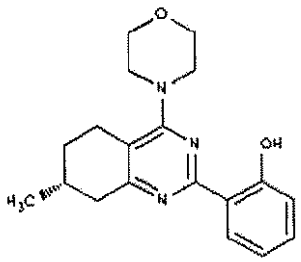


118

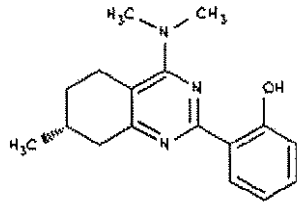
【化１４１】



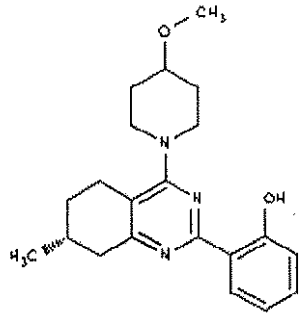
119



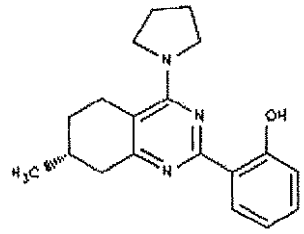
120



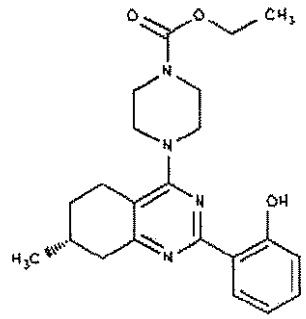
121



122

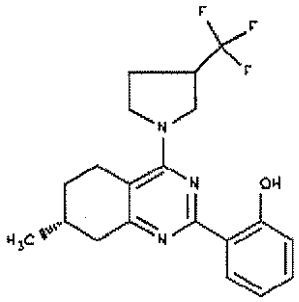


123

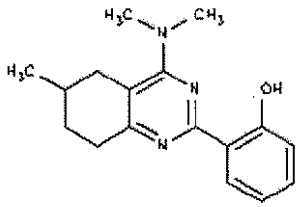


124

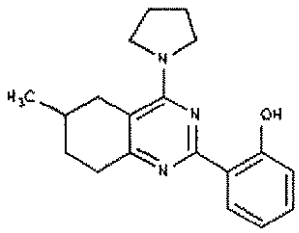
【化１４２】



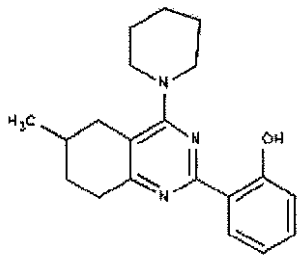
125



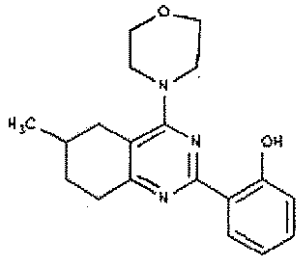
126



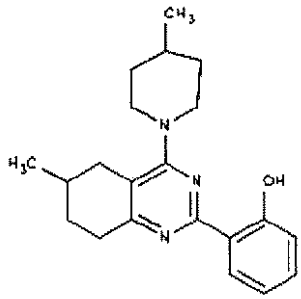
127



128

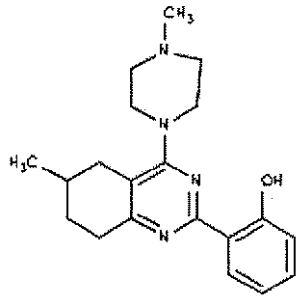


129

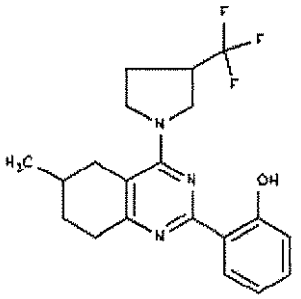


130

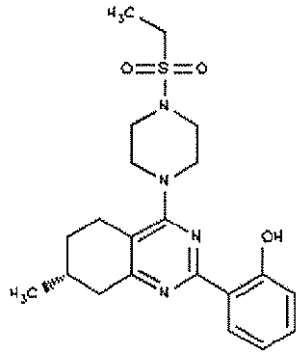
【化１４３】



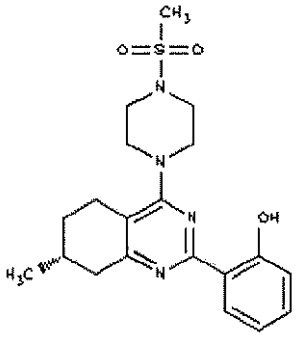
131



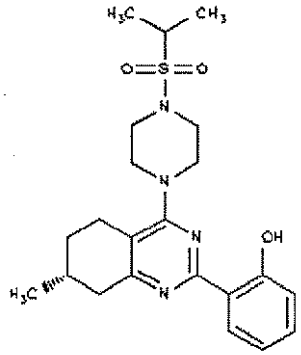
134



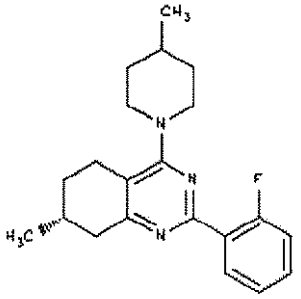
139



140

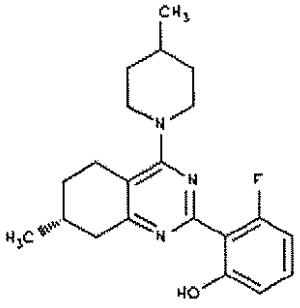


141



144

【化１４４】



145.

から選択される、化合物。
【請求項９】
請求項８に記載の化合物および薬学的に受容可能なキャリアまたはアジュバントを含む、医薬組成物。
【請求項１０】
以下におけるＮａＶ１．１、ＮａＶ１．２、ＮａＶ１．３、ＮａＶ１．４、ＮａＶ１．５、ＮａＶ１．６、ＮａＶ１．７、ＮａＶ１．８、ＮａＶ１．９またはＣａＶ２．２活性の１つまたはそれ以上を阻害するための、請求項９に記載の組成物：
（ａ）患者；または
（ｂ）生体試料。
【請求項１１】
以下におけるＮａＶ１．１、ＮａＶ１．２、ＮａＶ１．３、ＮａＶ１．４、ＮａＶ１．５、ＮａＶ１．６、ＮａＶ１．７、ＮａＶ１．８、ＮａＶ１．９またはＣａＶ２．２活性の１つまたはそれ以上を阻害するための、請求項８に記載の化合物：
（ａ）患者；または
（ｂ）生体試料。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０３２０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０３２０】
本明細書中および表２で一般に描写した本発明の化合物が、２５．０μＭ以下で、電位依存型ナトリウムを阻害することが見出された。